

全住民の参加で
住み良い地域を！

広 報
第 201 号



発 行：大沼学区コミュニティ推進会
責 任 者：会 長 佐藤 忠良
編 集：企 画 総 務 部
住 所：日立市東金沢町5-7-1
大沼交流センター内
TEL・FAX (35)8831

令和5年度 第2回地区懇談会開催

企画総務部

《大沼学区各地区とも諸問題解決に向け、熱心な話し合いが行われました》

2月4日(日) 大沼交流センター他3個所で「令和5年度第2回地区懇談会」を開催しました。

大沼学区10地区の地区長・町内会々長・コミ進役員の方々が各会場に参集し、今回も活発な意見要望等の討議を行いました。

これらの意見要望等に対し、大沼学区コミュニティ推進会が、関係先と調整しながら積極的に諸問題解決に向け対応策を図っております。今後も引き続き皆様のご支援をお願い致します。下記に令和5年5月7日に開催した第1回地区懇談会検討課題の抜粋を記します。

令和5年度 第1回地区懇談会検討課題(抜粋)

主な意見・要望	回答又は検討事項
通学路が狭い・側溝の蓋のがたつき等の通学路整備を。(1区5区9区)	コミ進土木委員が、市道路管理課に要望事項提出中。
町内会減少が今後の課題。(2区：18町内⇒15町内会に減少)	大変難しい問題で、学区全体の問題として取り組みます。
高齢化で町内会活動が難しくなっている。(資源当番・募金活動等) 負担軽減の対策はないか。(5区)	再生資源の回収方法については、市が業者委託方式を検討中です。
出・退勤時の車両の運行制限時速の規制、及び標識設置を。(1区7区)	コミ進土木委員が、市道路管理課に要望事項提出中。
防犯カメラの設置状況及び設置計画を知りたい。(3区4区7区)	日立市にあらゆる場を通じて、防犯カメラ設置を継続して要望して参ります。
防犯灯の設置方法及び周知方法を知りたい。(3区4区)	防犯灯設置申請は、《申請者名》《電話番号》《設置場所》を記入し、交流センター防災部トレーに投函願います。(毎年、広報紙5月20日号に詳細内容を掲載)
地区懇談会要望事項は学区内会員にも周知して頂きたい。(3区4区)	地域住民に必要な情報は、広報紙等で今後もお知らせします。
風力発電の羽根の騒音で以前より改善要望しているが説明がない。(6区)	日立市コミ進課に確認し、第2回懇談会までに回答します。(第2回地区懇談会で報告：夜間運転を中止している)

「さくらふれあいお楽しみ会」開催のお知らせ

文化部

4月開催予定の「さくらふれあいお楽しみ会」の日程をお知らせします。今回は (1) 9種類のゲーム、(2) もの作り体験 (3) 出店 (無料) 等を予定しております。

交流センター中庭の桜も満開の頃、皆様のご来場をお待ちしております。

記

日 時	4月6日(土) 10時～13時
場 所	大沼交流センター中庭(雨天決行：雨天時は体育館利用)
1.主なゲーム	・的抜きゲーム・射的(景品付き) ・海賊危機一髪 ・もぐらたたき・だるま落とし・ルービックキューブ
2.もの作り体験	・竹とんぼ作り ・バルーンアート作り
3.出 店	・けんちん汁 ・綿あめ

「ポータブル電源」設置のお知らせ

昨年の台風13号被害を受け、日立製作所より寄贈された「ポータブル電源」が、昨年11月に日立市より配布されました。今後、緊急時にはコミ進防災部が、管理運営します。

- (配布物)： ・ポータブル電源(1500W) ・ 1台
・折畳み式ソーラーパネル ・ 2台
・電源用バッグ ・ ・ ・ ・ ・ 1個

(備品：ACアダプター・シガーソケットアダプター)

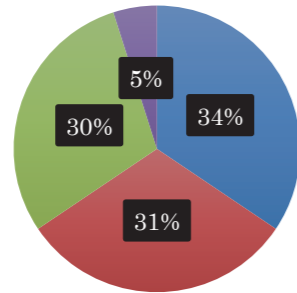


コミュニティプラン改定支援事業 アンケート実施結果について

今般、大沼学区の問題点を洗い出し、今後のコミュニティ活動の参考にするため、アンケートを実施しました。アンケート対象者は、学区内コミュニティ推進員(町内会長)・地区長を対象(102名)に配布した結果、約60%(61名)の回答がありました。アンケートテーマは、下記に示した項目に絞り回答いただきました。回答分析結果の見解は、下記表をご覧ください。

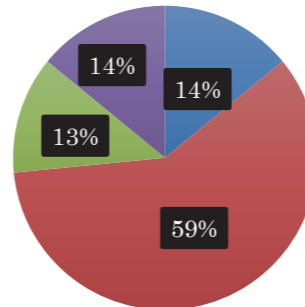
広報紙

- 毎回欠かさず読んでいる
- 関心ある記事が掲載されたとき読んでいる
- 気が向いたとき読んでいる
- 全く読まない
- 無回答



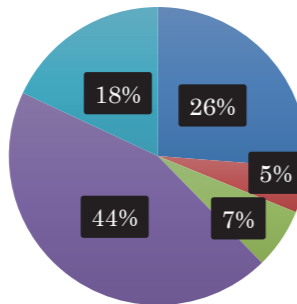
町内会

- コミュニティを維持するためには町内会は必要不可欠
- 町内会の必要性が薄れており解散はやむを得ない
- 町内会での助け合いは時代に合わない
- 町内会に入る必要性が全くない
- 無回答



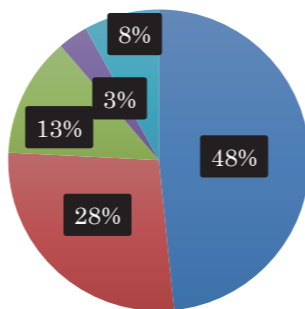
大沼まつり

- 積極的に参加している
- 参加したいが交通手段がないので参加しない
- 実施していることを知らず参加していない
- 全く興味がないので参加しない
- 無回答



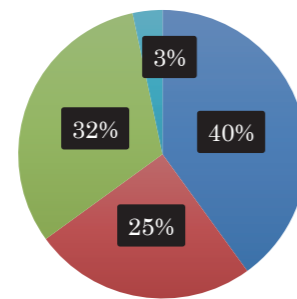
防犯パトロール

- 防犯効果があり継続して実施すべきだ
- パトロールのやり方を検討すべきだ
- 現状のやり方では防犯効果が期待できない
- 防犯効果がないのでやめるべきだ
- 無回答



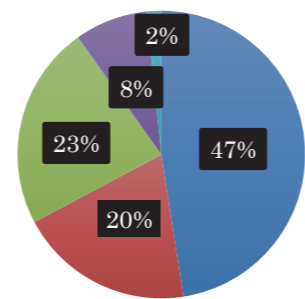
空き家問題

- 法令を変えてでも行政が積極的に対応すべきだ
- 現状の法令内で行政が対応すべきだ
- 人口が減少しており空き家問題は仕方ない
- 全く関心がない
- 無回答



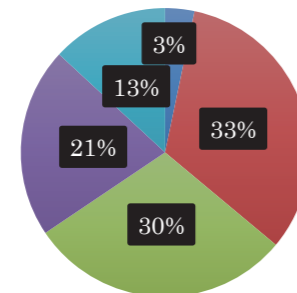
スポGOMI

- 子供の情操教育上とても良いことなので継続してほしい
- 参加対象を広げて実施してほしい
- 従来通りのごみ拾いでの実施で十分だ
- 全く関心がないので必要ない
- 無回答



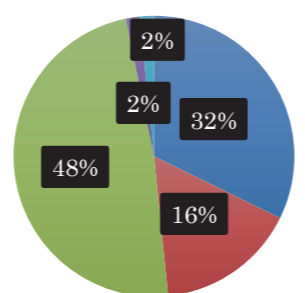
ビーチクリーンキャンペーン

- 積極的に参加している
- 海岸までの移動が大変で参加していない
- 海水浴はしないので参加しない
- 全く関心がないので参加しない
- 無回答



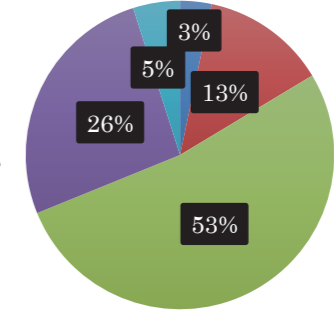
募金

- 社会福祉のため積極的に募金している
- 社協からの依頼であり仕方なく募金している
- 募金は個人の自由意思でやるべきで町内会がやるものではない
- 全く関心がないので募金していない
- 無回答



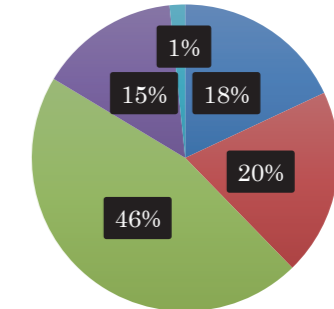
体育部行事

- 積極的に参加している
- 都合がつけば参加している
- 希望する競技がないので参加しない
- 運動に全く関心なく参加しない
- 無回答



総合防災訓練

- 積極的に参加している
- 都合がついたときのみ参加している
- 関心はあるが参加していない
- 関心がなく参加していない
- 無回答



項目	分析結果
広報紙	「毎回読んでいる・関心記事が掲載された時読んでいる」が65%であった。今後は更に関心記事の検討が必要。
町内会	59%の方が「町内会の解散は止むを得ない」と感じている。この傾向は市内全域であり、高齢化社会・生活様式が多様化するなか、今後の在り方を模索検討する必要がある。
大沼まつり	44%の方が「全く興味がないので参加しない」と回答。今後、興味があって参加したいと思われるイベントの検討が必要である。
防犯パトロール	48%の方が「防犯効果があり継続すべきだ」と回答し一定の評価がある一方で、「パトロール方法を検討すべき」との回答も28%ありさらに防犯効果を高める改善が必要である。
空き家問題	40%の方が「法令を変えてでも行政が対応すべき」と回答。この問題は、個人財産権が壁となっており、行政への積極的なアクションが必要である。
スポGOMI	47%の方が「子供の情操教育上良いことなので継続してほしい」と回答。今後も、コミ進事業として継続する。
ビーチクリーンキャンペーン	積極的に参加している方が13%であった。主催が市観光物産協会であるため、当コミ進として積極的な対応が難しい面がある。
募金	48%の方が「個人の自由意志でやるべきで、町内会がやるものではない」と回答。市として募金徴収方法を検討すべき時期と考える。
体育部行事	53%の方が「希望する競技がない」と回答、現状の実施種目見直しと、多くの方が参加しやすい環境づくりの検討が必要である。
総合防災訓練	46%の方が「関心はあるが参加していない」と回答。防災意識を更に高め、多くの方に参加していただける方法を検討する。

大沼防災神輿を大沼小学校へ寄贈（大沼まつりで永年活躍）

防災部

神輿のいわれは、平成9年(1997年)頃、地元の有志二人の方が余暇を利用し、2年の歳月をかけて神輿を製作されました。防災神輿の愛称で親しまれ、令和元年までの20数年間に亘り大沼まつりには欠かせない出し物でした。神輿本体の酒樽は、地元の某酒店から寄贈され、四方に下げた鈴は当時手に入らないために、青森のねぶた祭りに向いて手に入れたとの逸話が残っています。大沼まつりでは、皆に親しまれ永年活躍した神輿ですが、大沼まつりの内容も変わり使用が無くなったのを機に今回、大沼小学校スクールミュージアムに寄贈しました。今後も末永く、お祀りさせていただきます。



防災部研修会実施（東京）

2月1日(木) 防災部研修会を実施しました。「国立公文書館・警視庁本部庁舎・交通管制センター・神田川環七地下調節池」の視察を目的として実施し、45名が参加しました。国立公文書館では、明治初期から現代に至る国の重要な公文書を保存、歴史的公文書を閲覧しました。警視庁本部庁舎では、警視庁教室(映像室)・警察参考室(資料展示室)・通信指令センター(110番受理・指令)を見学、特に110番通報受信件数は東京都内1日平均で5100件に達するようです。また交通管制センターでは、都内や近県の交通情報収集・道路状況等を調整する監視モニターを見学、また神田川環状七号線地下調節池では、本管の内径が12.5m・長さは4.5Kmの巨大トンネルで、非常時には取水口から54万m³の水を溜められる施設を見学しました。防災部研修として有意義な一日となりました。



国立公文書館



善福寺川取水施設管理棟での説明



神田川環七地下調整池（巨大トンネル）

第14回 新春ボウリング大会

体育部

1月20日(土) 日立ボウルクレーンで「新春ボウリング大会」を開催しました。当日は57名の方が参加し、15レーンに分かれ、2ゲームの熱戦が繰り広げられました。会場は熱気溢れたゲームが展開され、終了後は全員に賞が贈られました。男女上位3位迄の入賞者は下記の方々です。



	男子の部 (総得点)	女子の部 (総得点)
優勝	八幡正次様 (409ピン)	足利伸子様 (275ピン)
準優勝	大西和雄様 (340ピン)	時野谷文子様 (251ピン)
第3位	八幡英行様 (338ピン)	高橋千栄様 (247ピン)

教養講座開催

生涯学習部

2月16日(金) 茨城県立歴史館出前講座を開催し、27名が聴講しました。演題は「奥女中のみた幕末の水戸藩」、講師は茨城県立歴史館特任研究員の笹目礼子様にお願しました。水戸藩の奥女中であった西宮秀(西野美津)が回想録として書いた「落葉の日記」を読み取り解説頂きました。西宮秀は武家の子として生まれ17歳で奥女中として水戸斉昭の妻吉子に仕え、35歳で奥女中を辞したのち72歳の時「落葉の日記」書き、79歳で永眠しました。日記の内容は、西宮秀が水戸藩の奥女中であった幕末の時期に起きた、安政元年(1854)のペリー来航、安政2年(1855)の大地震、安政6年(1859)の斉昭の水戸への永蟄居処分、安政7年(1860)の桜田門外の変等があった水戸藩の様子を書いた回想録である。西宮秀は当初小石川の水戸藩上屋敷で仕えていたが、斉昭の水戸への蟄居と共に水戸へ移り住み、職を辞した後は東京の父のもとへ帰った。西宮秀は、時代を受け入れ、自らの才覚で生き抜いた芯の通った女性であった。